



お神輿をかつぐ小学生たち



お神輿をかつぐ園児たち

関自治会夏祭り

関地区の有志で地元を盛り上げようと7月11日(土)に夏祭りが行われました。小雨が降るあいにくの天気でしたが、サザエのつぼ焼きや焼き鳥、souめん、おでんなどが振る舞われ、会場は活気に溢れていました。
メインイベントのお神輿パレードでは晴れ間も見え、地元の小学生や園児たちが「ワッショイ、ワッショイ」と元気なかけ声をあげていました。
本イベントの代表、牧野祥脩さん(関)は「今回の夏祭りで少しでも地元が元気になってくれれば」と思いを語りました。



お神輿をかつぎ終え、みんなで記念撮影

円覚寺例大祭

7月16日(木)、円覚寺で夏の例大祭(宵宮)が開催されました。柴燈護摩(さいとうごま)や火渡りの行も行われ、多くの人が訪れました。火渡りの行では、参加者が熱した炭の上を歩き、無病息災や心願成就を祈願しました。
また、境内には特設ステージが設置され、有志たちがカラオケや踊りを披露し、会場を盛り上げていました。円覚寺の前には多くの露店が並び、夏祭りを楽しむ方々で賑わいを見せていました。



練習してきた歌を披露



美しい踊りで会場を沸かせました



火渡りの行



賑わいを見せる円覚寺前

F-ミーティング

7月24日(金)、深浦公民館において、平沢町長と町民グループがよりよい町づくりのために対話を行うF-ミーティングが行われました。
第5回を迎えた今回は、深浦町連合婦人会(宮本千恵子会長)から14名が参加し、平沢町長と意見交換を行う中で次のような意見が出されました。

「郷土芸能の継承」

「深浦小唄」や「御慶山踊り」などの郷土芸能を次の世代へ受け継ぐために、小・中学校の授業等で体験学習をしたい。子どもたちが踊ることで親世代の関心も広がり、多くの人が触れられる機会を作っていくことができる。
また、歌える人が少ない「深浦讃歌」の復活に向け、音源の確認や指導者探しを進めていきたいと今後の活動について確認しました。

「婦人会のこれから」

会員の高齢化や後継者不足が課題となっており、「婦人会II踊り」というイメージを払拭し、料理教室や軽スポーツなど誰もが気軽に参加できるイベントを通じて、魅力を発信していきたいので興味がある方は、身近の会員に声がけてもらいたい。各地区の盆踊りや夏祭りなど、身近な地域活動の充実を何より大切にしながら、町全体を盛り上げられるよう活動していきます。



平沢町長を囲み意見交換



参加者全員で記念撮影

深浦会東京が大雪見舞金を寄附

深浦会東京の伊藤政貴会長(7区出身、神奈川県横浜市在住)が、平沢町長のもとを訪れ、今年の大雪被害への見舞金を寄附しました。
見舞金は、今年5月に行われた深浦会東京総会において、首都圏在住の町出身者や町にゆかりのある参加者へ寄附を呼びかけ集まったものです。
伊藤会長は「今年の雪は大変だったと聞いていた。被害に遭われた方にお見舞い申し上げます。今回の寄附金を少しでも役立てていただけたら」と述べました。



平沢町長へ見舞金を手渡す伊藤会長(写真右)

有害鳥獣対策用の花火が贈呈されました

つがるに起きた農業協同組合から深浦町ヘロケット花火700袋(1万4千本)が贈呈されました。つがるに起きた農業協同組合の成田春光組合長は「有害鳥獣を追い払い、農作物被害の軽減に役立ててください」と平沢町長に目録を手渡しました。平沢町長は「有害鳥獣対策の推進にご協力いただき感謝します。ありがたく使わせていただきます」と謝意を述べました。
贈呈されたロケット花火は、役場本庁舎及び大戸瀬支所、岩崎支所へ配置し有害鳥獣被害にお困りの方へ配布するなどして有効に活用させていただきます。



平沢町長へ目録を手渡す成田組合長(写真右)